

2. 事業の概要と成果																
<p>(1) プロジェクト目標の達成度</p>	<p>カブール市およびナンガハル県の児童の学習環境が改善されることを目的に事業を実施した。本事業を通して、432 人に安全で快適な学習環境を整備することができ、5,610 人の児童と 789 人の教員が良質な図書にアクセスできる環境を整備した。ナンガハル県では、ジャララバード市内の子ども達のべ 40,397 人々に対して、学校外教育へのアクセスを確保した。また不就学児童 40 人が公立小学校の第一学年と同様のカリキュラムを修了することができた。これらのことから、目的であるカブール市およびナンガハル県の児童学習環境の改善に資することができた。</p>															
<p>(2) 事業内容</p>	<p>1. 校舎建設活動  カブール市内ゾーン 12 にあるハサンザイ小学校に対して、8 教室ならびに 4 教室の校舎 1 棟および水洗トイレ 5 室 1 棟を建設した。  建設開始にあたり、カブール市教育局建設部や対象校の関係者、地域住民との調整を実施した。3 月末から建設用地の整備を開始し、4 月 14 日に着工、11 月前半の竣工となった。その後、各教室に児童用の机・3 人掛け椅子のセット 18 個、教員用の机・椅子などの学習家具を設置した。11 月 18 日、当会職員、学校教員、児童、教育大臣、教育局職員、住民らの参加のもと竣工式を開催し、建設した校舎をカブール市教育局に譲渡、学校とコミュニティが共に学校運営にあたる旨の合意を得た。  建設した校舎は現在、冬期休暇に入っており新学期の始まる 3 月 21 日以降から使用される予定である。児童登録が完了する 4 月後半に再度、学校長への聞き取りを行うが、13 クラス 421 人の児童が安全で快適な学習環境で学習することができるようになる見込みである。</p> <p>2. 図書室改善活動  教育省・教育局との調整事項をもとに、選定した 14 校（カブール市内 4 校、ナンガハル県内 10 校）に、学校図書室を設置した。各対象校に対して、本棚、机、椅子などの家具を供与し、日本から輸送した図書 10 タイトル 50 冊を含む、合計 908 冊を配架した。  「一般教員研修」と「図書室担当教員研修」をそれぞれ 2 回実施した。研修内容は、申請書に記載した通りである。それぞれの研修への参加者学校数、参加者数は以下の通りである。</p> <table border="1" data-bbox="518 1464 1469 1839"> <thead> <tr> <th>研修</th> <th>対象</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第一回一般教員研修</td> <td>カブール 1 校 ナンガハル 10 校</td> <td>319 人</td> </tr> <tr> <td>第二回一般教員研修</td> <td>カブール 1 校 ナンガハル 10 校</td> <td>345 人</td> </tr> <tr> <td>第一回図書館担当研修</td> <td>カブール 4 校 ナンガハル 10 校</td> <td>62 人</td> </tr> <tr> <td>第二回図書館担当研修</td> <td>カブール 4 校 ナンガハル 10 校</td> <td>63 人</td> </tr> </tbody> </table> <p>対象校 28 校において、移動図書館活動を合計 133 回、1 校あたり約 4.7 回実施した。対象の両県の教育局指導主事と当会職員が対象校を訪問し、図書館の使用状況や貸出状況についてのデータを収集した。同時に、児童の読書への動機付けを目的とした読み聞かせのデモンストレーションを行った。この読み聞かせ活動へ参加した児童は延べ 5,610 人（カブール 1,747 人、ナンガハル 3,863 人）で、1 回あたりの参加者数は 42.1 人であった。全対象校全体の累計貸出冊数は 35,600 冊で、月の平均貸出冊数は 1 校あたり 267.6 冊であった。</p>	研修	対象	参加者	第一回一般教員研修	カブール 1 校 ナンガハル 10 校	319 人	第二回一般教員研修	カブール 1 校 ナンガハル 10 校	345 人	第一回図書館担当研修	カブール 4 校 ナンガハル 10 校	62 人	第二回図書館担当研修	カブール 4 校 ナンガハル 10 校	63 人
研修	対象	参加者														
第一回一般教員研修	カブール 1 校 ナンガハル 10 校	319 人														
第二回一般教員研修	カブール 1 校 ナンガハル 10 校	345 人														
第一回図書館担当研修	カブール 4 校 ナンガハル 10 校	62 人														
第二回図書館担当研修	カブール 4 校 ナンガハル 10 校	63 人														

	<p>3. 子どもの学校外教育活動</p> <p>ジャララバード市内で運営する子ども図書館において、読書、絵画・工作、詩、縫製といった教室を時間割を決めて実施し、これらを通して学校外教育の機会を提供した。活動期間中、この子ども図書館は242日間開館し、延べ40,397人の子どもたちが利用した。一日の当たりの利用者数は平均で166人であった。</p> <p>また祝日や子どもの誕生日を祝う特別行事も月1回実施し、子ども達1,812人（一回あたり151人）がこれに参加した。</p> <p>学校に通えていない不就学児童を対象に、小学1年生レベルの読み書き・計算を学習内容の中心とした特別教室を開講し、40人が参加し、4月から9カ月のコースを修了した。</p>
<p>(3) 達成された成果</p>	<p>1. 校舎建設活動</p> <p><u>13クラス、421人の児童が安全で快適な教室で学習できている。</u></p> <p>新学期が始まり、児童登録が完了した頃にモニタリングを実施するため、実績は未確認である。しかしながら、それぞれの教室へ3人掛けの椅子・机を18セット供与しているため、432人（3*18脚*8教室）の児童が安全で快適な教室で学習できるようになる見込みである。</p> <p>これらの成果は、持続開発目標（SDGs）の目標4-1 初等教育のアクセスと質の改善、4-5 女子、脆弱層の教育格差の改善、4-7 防災教育の推進、4a 安全で効果的な教育施設の提供に寄与する。</p> <p>2. 図書館改善活動</p> <p><u>対象校28校において、1校あたり300冊/月以上の図書が児童に貸し出されている。</u></p> <p>モニタリングの結果、1校あたり月平均267.6冊（目標比89.2%）の貸出冊数を確認した。これらの実績値は、計画時の成果指標に達していない。主な理由は、大統領選挙に伴う情勢不安、治安の悪化である。</p> <p>2019年9月末に行われた大統領選挙の前後には、この妨害を目的としたテロ行為が増加していた。教育機関が攻撃対象となるケースも見られたため、社会情勢や治安などを考慮しながら活動を実施した。</p> <p>そのため学校によっては、図書室の設置、研修の実施、モニタリングといったそれぞれの活動が効果的なタイミングで実施できないことがあった。昨年以前に図書室設置を終えていた学校に関しては、この影響が少なく貸出冊数が成果指標を超える学校が多くあったが、今年の設置対象校の14校では、選挙前後の活動を控えたため、研修後のモニタリングの調整に時間を要し、研修とそのフォローアップの間隔が空いてしまった。</p> <p>この活動は、環境整備や教員研修といった活動を通して、読書機会を増進すること、良質な図書へのアクセスを確保しようとしており、SDGsにおける4-1 初等教育のアクセスと質の改善、4a 安全で効果的な教育施設の提供、4c 質の高い教員の増加へ寄与する。</p> <p>3. 子どもの学校外教育活動</p> <p><u>①1日あたり140人の児童が学校外教育活動に参加している。</u></p> <p>事業期間を通して、子ども図書館の1日あたりの利用者は166人であり、この指標を上回っている。2016年末以降は、パキスタンからの帰還民や国内避難民の子ども利用者が増加傾向にあるが、加えて身体的・精神的な障がいをもった子どもたちや、路上で働きながら家計を支える子どもたちなど、様々なバックグラウンドを持つ子どもたちが利用している。</p> <p>ジャララバード市内の治安も不安定ではあるが、公教育にアクセスできない子どもたちに教育の機会を提供することができた。</p>

	<p>②不就学児童 35 人が教育の機会を得ている。</p> <p>4 月から 9 カ月間に渡り、不就学児童を対象とした特別教室を開講した。9 歳から 12 歳の不就学の子どもたち 40 人が参加し、全員がこれを修了した。これらのことから、35 人以上が教育の機会を得られており、成果指標を上回っている。特別教室修了後、県教育局が実施する編入テストに合格すると公立小学校第二学年への編入が可能となる。例年、多くの子どもたちが受験し、編入しているため、今年の修了児童に関しても同様に公立小学校への編入が期待されている。</p> <p>これらの活動は、子ども達の教育へのアクセスを提供すること、また様々な社会背景を共有する子どもたちへ教育の機会を提供することから、4-1 初等教育のアクセスと質の改善、4-5 女子、脆弱層の教育格差の改善に寄与する。</p>
<p>(4) 持続発展性</p>	<p>1. 校舎建設活動 建設した校舎と供与した学習家具等はカブール市教育局に譲渡し、登録されている。これらの管理の責任は当局が負うものの、実質的な維持管理は学校教員と地域住民が担う。教員・地域住民に対しては、校舎維持管理研修を実施し、建物の損傷を最小限にとどめ長期にわたり利用できるよう、注意事項を説明した。</p> <p>2. 図書室改善活動 学校図書室の設置、図書館員の配置に関する方針は、国の教育戦略計画に定められているため、図書室の管理と児童に対する図書サービスの提供は持続性が見込まれる。今後は、管轄の教育局がより積極的に各学校に対して指導や活動への助言が出来るよう、働きかけを継続していく。</p> <p>3. 子どもの学校外教育活動 今後、国内の公共図書館で子どもスペースが導入されることが期待される。すでにカブール州、ラグマン州、クナール州、ヘラート州等の一部の図書館では子どもスペースが出来ており、モデルケースとして子ども図書館が引用されている。今後は、より情報文化省・局が主導でこれらの活動を牽引していけるよう、管轄省庁への働きかけを行う予定である。</p>